

2. 目指す都市像

② 福祉と健康づくりで  
 明るいまち

健やかな生活を願う市民のために

まちづくりの

指針

だれもが自分に合った健康な生活をおくるために、市民の健康づくり活動を促進することや医療体制の充実を図ることに加え、お互いに支え合える環境をつくるとともに、高齢者や障がい者が安心して生活できる福祉のまちづくりを進めます。



実現のための  
 まちづくりの  
 方向性

- 1 それぞれが健康な日常生活をおくれるまちづくり
- 2 みんなで支え合うまちづくり
- 3 高齢者や障がい者が生きがいを持ち、安心して生活できるまちづくり

1. それぞれが健康な日常生活をおくれるまちづくり

現状と  
 課題

すべての人が明るく健康で暮らせるまちをつくるためには、市民一人一人が日ごろから病気を予防し、健康づくりに取り組むことのできる環境づくりを一層進めていく必要があります。

また、万一のときにも安心して医療が受けられるよう、医師会等の協力を得て、休日夜間応急診療所をはじめとする救急医療体制の整備・運営を進めてきましたが、更なる充実を図っていくことが課題となっています。

市役所の  
 役割

○健康づくり・疾病予防の推進

◆各種健康診断や健康指導等を実施するとともに、健康に関する情報を積極的に発信し、健康づくりの促進や疾病予防の推進を図ります。

○医療体制の充実

◆県及び県立医科大学や近隣市町村、関係機関と協力した広域の救急医療体制、病院間のネットワークを整えとともに、医療体制の情報発信や受診に関する知識の普及により、適正な受診を促します。

市民への  
 期待

市民には、自分や家族の健康に注意を払い、健康づくりへの取組に参加するとともに、信頼できるかかりつけ医を持って健康管理に努めることが期待されます。

2. みんなで支え合うまちづくり

現状と  
 課題

核家族化・プライバシー意識等により地域のつながりが希薄化しているため、地域福祉への理解と参加を呼びかけ、共助の意識を高めていく必要があります。

市役所の  
 役割

○地域福祉の充実

◆地域の福祉活動に参画する意識を醸成し、地域課題の解決のため、支え合う体制を構築するとともに、活動拠点としての施設の活用を進めます。

◆だれもが積極的に社会参加ができるよう、市の公共施設や歩道のバリアフリー化等の整備を進めるとともに、市以外の公共施設、商業施設のバリアフリー化を啓発し、促進します。

○社会保障の充実

◆社会保障の制度を適正に運用し、生活基盤の安定化を図ります。

市民への  
 期待

市民には、自らが地域福祉の担い手であることを自覚し、地域の中で支援を必要とする人に目を配り、支え合い、助け合う地域づくりに自分ができることから取り組むことが期待されます。

3. 高齢者や障がい者が生きがいを持ち、安心して生活できるまちづくり

現状と  
 課題

本市では、高齢者や障がい者にやさしい環境を整備し、住み慣れた土地で安心して暮らすことができるよう取組を進めていますが、今後は更に介護予防や自立支援等に向けた取組を進めていくとともに、地域社会全体で支え合う仕組みを構築することが必要です。

市役所の  
 役割

○高齢者支援の充実

◆高齢者が自立した生活をおくるための支援や安全対策を講じます。

◆高齢者がさまざまな場に参加し、交流することのできる環境をつくります。

◆公的援助を必要とする高齢者に対して、保健・医療と福祉の施策が連携したきめ細かな対応に努めます。

○介護保険・介護予防の推進

◆高齢者が元気に過ごすことができるよう、また、要介護状態になっても状態が悪化しないよう、介護予防の取組を進めます。

◆認知症ケア等の要介護度に応じた質の高いサービスが受けられるよう、介護サービスの適正化に努めるとともに、介護者の支援を進めます。

○障がい者支援の充実

◆障がい者の自立支援の意識を醸成するための取組を行うとともに、企業にも理解と協力を求め、自立した社会生活及び社会参加の促進を図ります。

◆障害福祉サービスが身近に安心して利用できる体制を整えます。

市民への  
 期待

高齢者や障がい者には、自分の能力を活かし、必要な支援を選択しながら生きがいを持って地域活動に参加する等、積極的な役割を担っていくことが期待されます。

市民や事業者には、高齢者や障がい者が安心して生活するために、理解と思いやりを持ち、協力・支援することが期待されます。